

正保2年(1645)の国絵図に描かれた雄勝湾の浜(国立公文書館デジタルアーカイブ)



宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

ひらかわ あらた
平川 新

未来への航路

雄勝は世界の良港

女川湾を出たビスカイノは、さらに北上して雄勝湾に入りまし

た。ミチュハマとバケ

という浜があり、その

奥にオンガチがあると

書いていますので、水

浜と分浜、雄勝のこと

でしょう。雄勝につい

てビスカイノは、あら

ゆる風から守られて、

湾の入り口も船着き場

も水深が深く、これま

で見た港のなかでは世

界一優良だと、べた褒

めしています。

住民も多く、食料も

安価で豊富にあり、薪

やその他の必需品も容

易に手に入るので、我

らが希望に最も適して

いるともあります。ビ

スカイノが探している

のはマニラ・ガレオン

船がメキシコに向かう

さいの寄港地ですか

ら、入り江が深くて寄

り付きのよい港と物資

図法に関心をもったよ

うです。

これより前、ビスカ

イノが大原にいた12月

には元和(1615

年)に御仮屋が建てら

れていました。御仮屋と

をしたと考えてよいで

しょう。ビスカイノが

港湾調査をしていたと

きも、このあたりで鹿

狩りをしていたので

しょう。

狩猟を行うときに

は、山野から動物を追

い出す勢子(せこ)が

必要でした。ビスカイ

ノによると、この鹿狩

りのために家臣や付近

の領民が多数集められ

ています。その負担は

大変だったのですが、

②5 ビスカイノ、雄勝湾を見る

20日、ビスカイノは政宗に探検の結果を報告しています。政宗は今後も報告を続けるようにと返事をしています。したが、近くで鹿狩りをしているという聞いたビスカイノは、23日にも雄勝から政宗に報告をしたのでした。

政宗の鹿狩り

政宗がどこで鹿狩りをしていたのかは、政宗の動向を記した「貞山公治家記録」にも書かれていないので、残念ながらわかりません。しかし政宗が遠島(牡鹿半島)で鹿狩りをし、千頭近くを取ったとの記録があります。

政宗が鷹狩り、鹿狩りを好んでいたことは、側近の伊達成果が書いた「政宗記」に「遊山癖」だったためです。ので間違いありません。

少しあとのことになりましたが、牡鹿郡大原



大原の御仮屋跡 (google map)



ひらかわ あらた
昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。館長に就任した。

は、藩主が鷹狩りや鹿狩りの際に滞在する建物のことです。しばしば来っていたので大原に御仮屋が建てられたのでしょう。

政宗は、亡くなる5カ月前の寛永13年(1636年)5月に、桃生郡十五浜へ鹿狩りに出かけて、名振や横川の泊まったとあります(『政宗記』)。名振には戦国時代以来の在地土豪で財入を務めていた永沼家がありましたので(本連載③「北上町史の編さん」)、同家に宿泊した可能性があります。こうした政宗の動き

東北大学災害科学国際研究所の所長などを経て、平成26―31年度まで宮城学院女子大学学長を務めた。専門は日本近世史、歴史資料保全学。令和4年4月に、3代目のサン・ファン館館長に就任した。